日常矯正歯科臨床における、資料、事務処理の省力化のためには、 Total Digital化が1つの方法である。下記の業務の内、黄文字の業 務についてDigital化を試みた。(図1)

●窓口

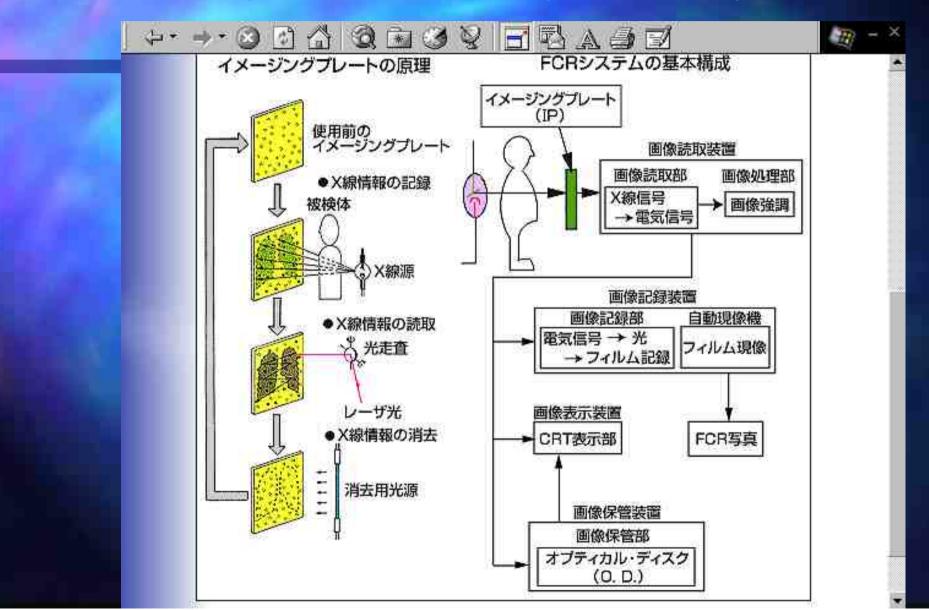
- 予約
- 会計
- ■精算
- ■日計表
- 保険請求
- その他

●診療室

- カルテ記入
- レントゲン写真
- 矯正分析、診断
- ■顔面口腔内写真
- 矯正相談
- 印象·技工物
- ■その他

FCRの原理と基本構成(図2)

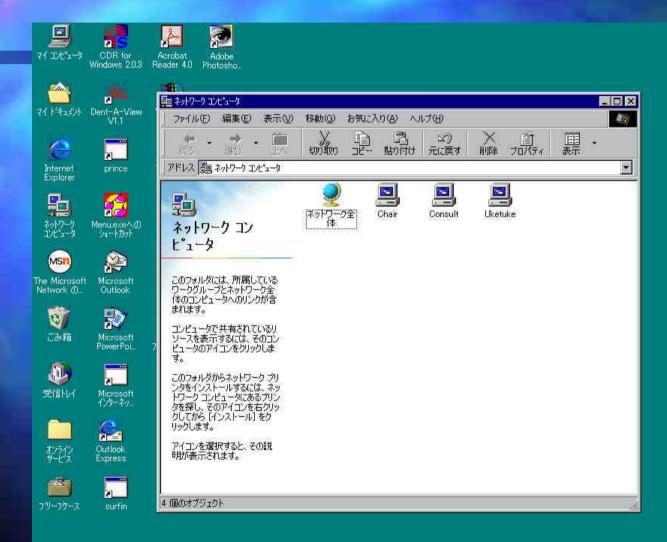
Digident社のイメージングプレート方式systemとの違いはフイルム記録部分



本院LAN system構成(図3)



分院LAN system構成(図4)





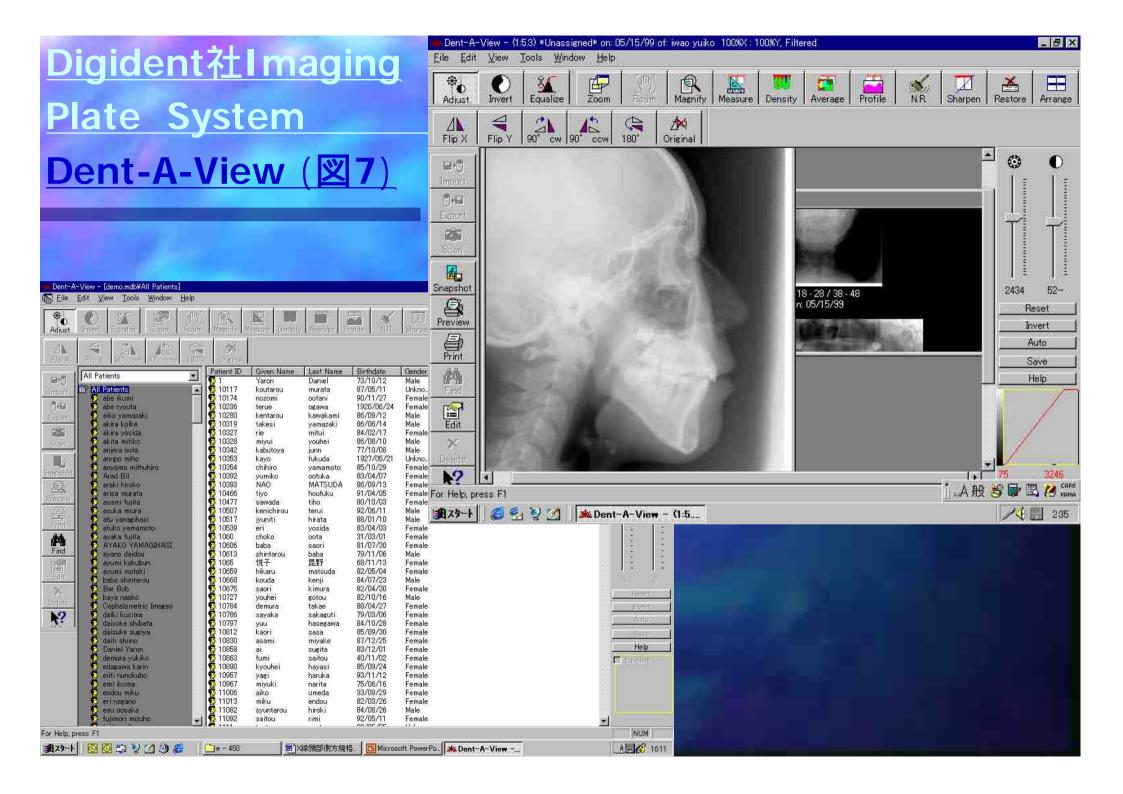
システム構成(図5)本院-分院接続

- •分院用Host
 - Dial Up
 - Rooter

•ISDN

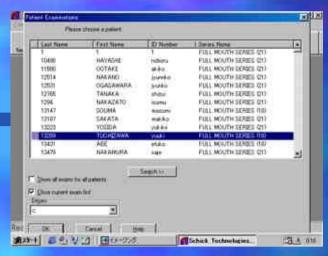
- •本院用Host
 - Dial Up
 - Rooter



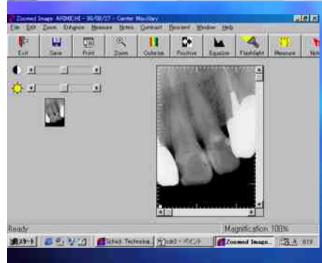


・当院で使用している歯科用レントゲン装置(図8)





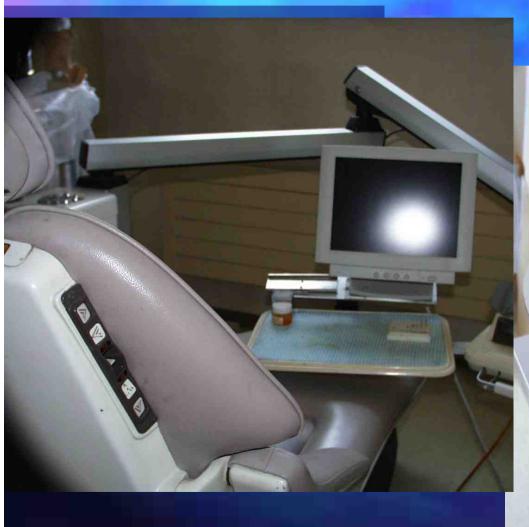






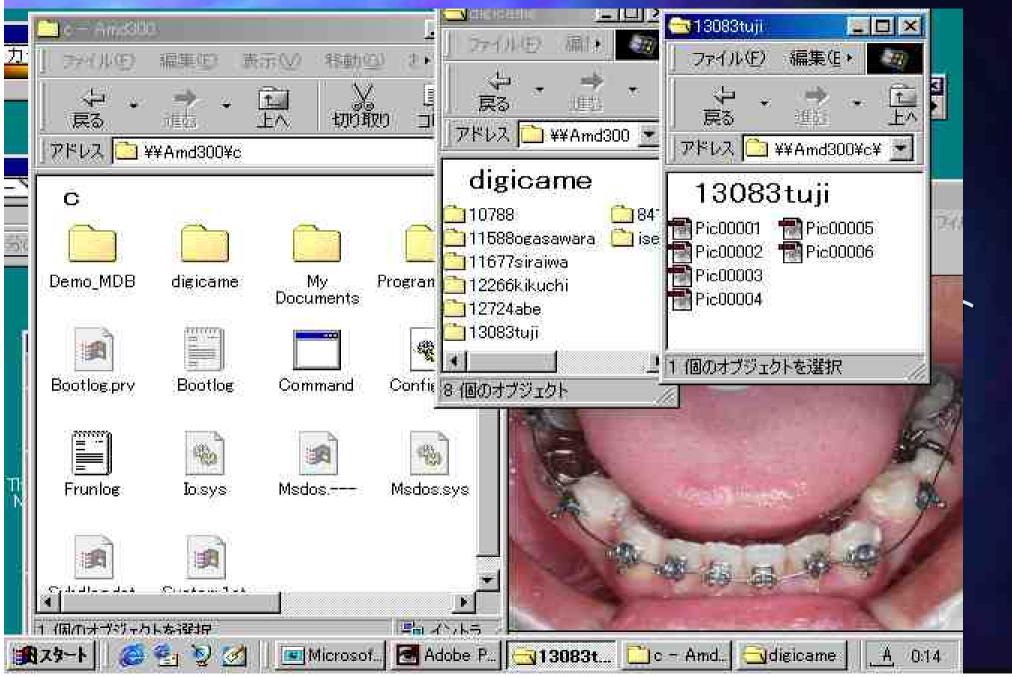


本報告で使用している Display部と入力部(図9)

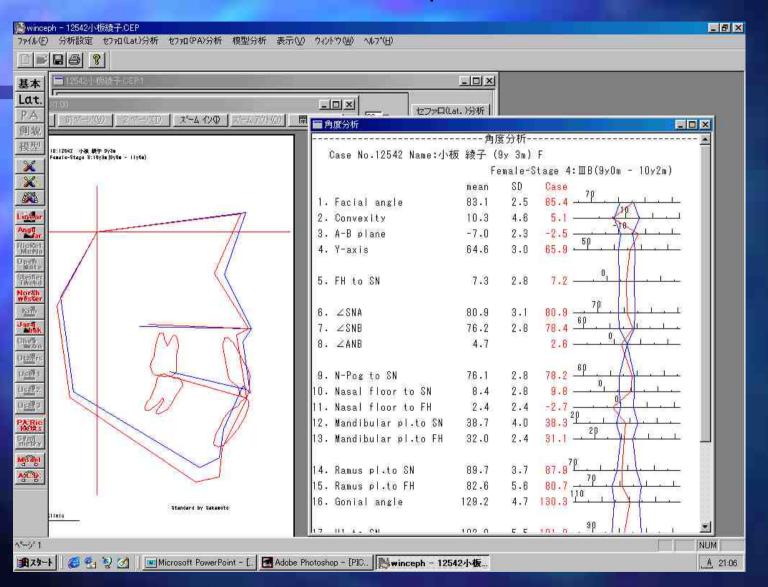




Digital Camera Data 保存(図8)



矯正歯科分析ソフト(Winceph)使用例(図9)



予約プログラム(図10)

